

仕様書（詳細）

1 各業務内容

	業 務 名	内 容	備 考
①	へき地におけるオンライン診療導入にかかる先進事例調査	<p>受託者は、県が県外2か所の先進地を選定して、その行政担当者、医療機関を訪問・調査し、現状や課題等を把握できるよう、次の業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査先の事前調査（情報収集） ・調査先の候補提案 ・調査項目の提案 ・調査の同行 ・調査結果のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託者は、調査先や調査項目を県に提案すること。（県は受託者と協議のうえ、これを決定する）。 ・受託者が調査に必要な旅費は、受託者が負担すること（県職員が要する旅費は県が負担する）。
②	県内へき地におけるニーズ調査	<p>受託者は、県が県内へき地を有する市町を5か所程度選定し、その行政担当者、へき地の診療所または病院の担当者を訪問・調査し、オンライン診療に関するニーズ等を把握できるよう、次の業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調査先の事前調査（情報収集） ・調査先の候補提案 ・調査項目の提案 ・調査の同行 ・調査結果のまとめ 	同上
③	有識者ヒアリングの開催支援	<p>受託者は、県が今後のへき地医療やオンライン診療のあり方について、有識者から意見を聴取する会議を開催するにあたり、以下の業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料作成 ・会議の同席 ・議事録の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・受託者は、委員候補者、聴取する内容を県に提案すること。委員候補者の提案にあたっては、本事業の目的及び左欄の内容に適した専門分野を考慮すること。（県は受託者と協議のうえ、これを決定する。） ・委員数5名程度 ・予定回数 1回 ・委員に必要な報償費及び旅費は県が負担する。

④	検討会議の開催支援	<p>受託者は、県がへき地オンライン診療の普及促進を検討する会議を開催するにあたり、以下の業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会議資料作成 ・会議の同席 ・議事録の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・委員数10名程度 ・予定回数 2回 ・委員に必要な報償費及び旅費は県が負担する。
⑤	へき地オンライン診療に適した複数の導入モデルの構築と提案	<p>受託者は、①～④の結果を踏まえて、本県でのオンライン診療の導入に適したモデルを複数構築し、県に提案する。</p>	<p>最終決定には、県との協議が必要。</p>
⑥	報告書作成	<p>受託者は、①～⑤までの結果を一つの報告書としてまとめ、成果品として県に提出する。</p>	<p>納品物 報告書データ1式</p>

2 参考スケジュール

令和5年

7月～8月 ・ 県外調査、県内調査

・ 有識者ヒアリング

9月 ・ 検討会議（調査結果の提示）

12月 ・ // （複数の導入モデルの提案）

令和6年

1月 ・ 報告書完成

3 委託業務の実施条件等

- (1) 業務の遂行に当たっては、三重県に定期的に進捗状況を報告するなどにより、十分な連絡を保ち、必要な調査・分析等を行うこと。
- (2) 受託者は、契約締結後速やかに、作業内容、作業工程をまとめた作業計画書を作成し、三重県の確認を受けること。
- (3) 三重県と受託者との打ち合わせの後、その議事録（概要）を提出すること。
- (4) 業務の遂行に関し、へき地医療及びオンライン診療に関する知識、技術、情報収集力、分析力を有するスタッフを配置すること。

4 その他

- (1) 本業務について必要な資料は、別途調整のうえ決定する。
- (2) 本仕様書に定める事項について疑義が生じた場合は、三重県と受託者が協議のうえ、業務の細目を決定するものとする。